

旧青山別邸(ミュージアム・レストラン)

- 物件名：旧青山別邸（ミュージアム・レストラン）
- 住所：祝津3-63
- 電話：24-0024
- 所有者：佐藤美智夫(オーナー)、佐藤裕子(社長)
- 運営者：株式会社貴賓館
- 人員：38人
- 建物履歴：
 - 大正12年 青山政吉は6年半の歳月をかけ、別邸を建設
 - 昭和48年 青山別邸を旭川の医師が買取
 - 昭和63年 佐藤美智夫・佐藤裕子所有
原形の技術や素材を踏襲し復元
 - 平成元年 「旧青山別邸」開館
 - 平成16年 貴賓館新築完成
 - 昭和60年 小樽市歴史的建造物指定
 - 平成9年 小樽市都市景観賞
 - 平成22年 有形文化財として国に登録される



北の美術豪邸、旧青山別邸
現在の価格に換算して総工費35億円といわれる豪邸 <写真提供：(株)貴賓館>

※青山政吉

- 祝津の鯨御三家 茨木、白鳥、青山の一人
- 安政6年 青山留吉、山形県遊佐町から渡道
 - 明治20年 青山家6ヶ統の行成網所有
 - 明治26年 12ヶ統の行成網と6年で倍
 - 明治27年 行成網を7ヶ統に減らし角網を4ヶ統
 - 明治34年 行成網1ヶ統・角網11ヶ統

- 大正4年 青山留吉は政吉に漁業権贈与、建網15ヶ統
- 大正7年 北海道内多額納税者13位7,759円納税
- 大正12年 別邸（現 旧青山別邸）竣工

■外観

入母屋の重厚な瓦屋根が特徴。建築の材料、造作、建具など贅を尽くす。

- ①鬼瓦と彫刻 家紋入りの鬼瓦と彫刻
- ②軒下の彫刻
- ③瓦葺きの重ね屋根
- ④文庫蔵4重の扉
- ⑤庭園 枯山水、滝とつつじの庭園、牡丹・しゃくやくの庭園、あじさい庭園

■内観

指鴨居や縁側床板のケヤキに春慶漆塗を施す。

- ①客用大玄関 山内多門力作の水墨画
- ②百畳敷の大座敷 池大雅作の額
- ③中村不折の間 書
- ④八仙人の間 嶋崎柳塙作八仙人
- ⑤たも材の階段
木目が美しいたも材の階段 棟梁 斉藤子之助 苦心の作
- ⑥廊下 13mの長押しはひのき材の一本物
- ⑦黒木欽堂の間
- ⑧扇の間 川合玉堂一門作の扇絵
- ⑨比田井天来の間 書
- ⑩炉と屏風 山岡鉄舟書の屏風

■内容

昭和63年に所有し、1年かけて、原形の技術や素材を踏襲する方向で修復。畳の総入れ替え、縁の下掃除、壁・廊下の修復、庭土の入れ替え、瓦の葺き替え、池の修復など。

- ①屋根 兵庫県の業者に修復を依頼。三州瓦。
- ②池 池は3回も掘る難事業
- ③枯山水 職員が土木作業を手伝う。
- ④貴賓館

旧青山別邸の一部にレストランスペースを設けていたが、熱使用のため梁に大きくヒビが入ったことがきっかけで、別棟に2階建貴賓館新築、その後貴賓館5階増築。

■コンセプト

掃除は特に角や隅に気を遣い、掃除を徹底させている。壁の高低も徹底して拭かせている。

全国文化財経営者協会理事長として、旧青山別邸はもちろん全国の文化財の維持・保存に向けて活躍。

■客層

本物を守り保護するオーナーの気遣いがお客様にも十分伝わっている。



佐藤美智夫氏 <写真提供：(株)貴賓館>



恵比寿鬼瓦



軒下の彫刻 <写真提供：(株)貴賓館>

旧青山別邸(ミュージアム・レストラン)



八仙人の間



比田井天来の間



中村不折の間



黒木欽堂の間



客用大玄関 襖絵「黒松」〈写真提供:榎貴賓館〉



牡丹の間



扇の間



紫檀製の欄

旧青山別邸(ミュージアム・レストラン)



文庫蔵 外観 <写真提供: 榎貴賓館>



文庫蔵と錠の意匠



木目の美しい、たも材の階段 <写真提供: 榎貴賓館>



一枚板を蒸して曲げた風呂の天井



洋間の台輪 <写真提供: 榎貴賓館>



山岡鉄舟書



滝とつつじの庭園 <写真提供: 榎貴賓館>



枯山水の庭



海を望むあじさい庭園 <写真提供: 榎貴賓館>

